

小菅ヶ谷小学校 運動会

令和4年10月22日(土)に、小菅ヶ谷小学校の運動会が行われました。



- 1年生は、初めての運動会。ときどきわくわくいっぱい参加しました。演技では少ない練習の中でも振り付けを覚え、当日は笑顔いっぱい踊ることができました。また競技では、英語の授業で反応の良かった「ベイビーシャーク」の踊りを楽しみつつ、力いっぱい玉を投げる事ができました。そして徒競走では、大きく手を振って力いっぱい走りきることができました。最後には、疲れた表情を見せつつも、「楽しかったー。」と元気に帰っていく子どもたちの姿が見られました。
- 2年生は、ポンポンを持って元気いっぱい踊ることができました。初めて行う隊形移動は何度も練習し、本番では上手にできました。1年生のお手本になれるように日頃から練習をがんばりました。また競技では、1年生、2年生で力を合わせて玉入れをしました。お片付け競争も最後まで全力で楽しめました。そして徒競走では、50m走に挑戦しました。最後まで一生懸命に走ることができました。



- 3年生は、徒競走で初めての80m走に挑戦しました。難しいカーブでも失速することなく、最後まで走り切りました。演技も4年生と協力して、太鼓の音を高々に鳴らして、しっかりと踊りきりました。そして競技では、4人で協力し、回転でも息を合わせて上手に回り、最後まで走りきりました。
- 4年生の演技では、太鼓で音を鳴らしながら踊るといった難しい動きに挑戦しました。当日は、太鼓の音や一つ一つの振り付けや表現、そして子どもたち皆の心が一つになった演技でした。競技では、4人で力を合わせて最後まで全力で走りきりました。そして、徒競走では、上手にカーブを走り、最後の直線も力を振り絞ってゴールしました。



- 5年生は、6年生から伝統の踊りを受け継ぎ、南中ソーラン節を踊りました。本番は、体力の続く限り精一杯取り組み、充実感を得ることができました。競技では、赤白全力を出し切って綱引きをしました。勝っても負けてもお互いを拍手でたたえ合い、正々堂々と勝負をすることができました。そして徒競走では、最後の最後まで諦めずに自分の今の力を100%出しきって走りました。
- 6年生。2年連続となった南中ソーラン節では、5年生に踊りを引き継ぐという任務と、昨年よりもより一層キレのある動きを習得することを意識しました。綱引きでは、最後の最後まで赤白気持ちを合わせて引っ張りました。徒競走では、全力で走りぬぎ、お互いの健闘をたたえ合いました。各プログラムで自分の役割をしっかりと果たす姿に、最高学年としての意識の高まりを感じました。6年生にとって、小学校生活最後の運動会。ここで得た力を、今後の学校生活に生かしていきます。



- 応援団の皆さんは、全校の応援を最後までリードしてくれました。